

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	まちづくり政策課長 川村 悦章	
まち-01	実施事業	まちづくり推進事業	自治事務	主管課 まちづくり政策課
			法定受託事務	関連課 土地利用調整課
総合計画上の位置付け	分野	市街地整備	施策の方針	市街地整備の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	計画的な土地利用と市民参画によるまちづくりを推進するため。
効果	まちづくり制度の体系的な整理やまちづくりのあり方を検討し、安全で快適なまちづくりの実現に寄与する。

2 平成28年度に実施した事業の概要

・まちづくり条例に基づく開発事業公聴会の過去2回の開催実績を踏まえて、同条例及び同条例施行規則を補完する要領の作成について検討を行った。 ・本市の実態に見合った土地利用の調整に関する制度のあり方の検討を行った。 ・市街化調整区域における本市独自の開発許可基準の策定について検討を行った。 ・まちづくりに関する基本事項及び重要事項について、まちづくり審議会の意見を参考に調整、検討等を行った。 ・自主まちづくり計画の策定について検討している、西鎌倉住宅地自治会からの相談を受け、支援を行った。

3 事業費等基礎データ

データ 人口等の データ	データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考 ・各年3月31日 (住民基本台帳)
	人 口	177,243人	176,869人	人 口	176,466人	
	世 帯 数	80,676世帯	80,928世帯	世 帯 数	81,150世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数		
運営 資源状 況	決算値(千円)	624	514	当初予算(千円)	1,059	
	国県支出金			国県支出金		
	地方債			地方債		
	その他	4	24	その他	72	
	一般財源	620	490	一般財源	987	
	人員配置数	5.0	4.5	人員配置数	4.5	
	人 件 費(千円)	39,600	35,099	人 件 費(千円)	35,628	
事業 経費運 営	総事業費(千円)	40,224	35,613	総事業費(千円)	36,687	
	市民1人当りの 経費(円)	227	201	市民1人当りの 経費(円)	208	
	対象者1人当り の経費(円)			対象者1人当り の経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である
		協働実施済の場合のパートナー まちづくり市民団体
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す → ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 ・安全で快適なまちづくりを実現するため、予算規模を維持しながら、引き続き市民参画によるまちづくりへの支援や土地利用調整制度等のあり方の検討を行っている。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・事業費は、まちづくり審議会の運営に必要な経費など、必要最小限で執行しており、削減の余地はない。 ・地域の特性に応じたまちづくりが求められており、市が事業を実施する必要がある。 ・良好な住環境を維持するため、引き続き先進他都市の事例も参考にしつつ、本市の実態に見合った土地利用調整制度等の構築を目指す。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方	自治体により策定に係る合意等の規定に違いがあるものの、本市のまちづくりに対する市民の関心度は高い。引き続き、市民参画によるまちづくりの推進に努める。 なお、今年度の評価に当たっては各市の条例や制度を再確認し、比較団体の見直しや実績の再確認を行った。
---------------------------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方	
--	--